



令和7年度 豊田市「大学・高専発 研究提案」

豊田スタジアムの スタジアムツアーを活用した ヘリテージスポーツツーリズムの開発



中京大学大学院 伊藤研究室
博士後期課程2年 太田 明李
教授 伊藤 央二

はじめに



本報告書は、「令和7年度豊田市大学・高専発研究提案」にて実施致しました「豊田スタジアムのスタジアムツアーを活用したヘリテージスポーツツーリズムの開発」の研究結果についてまとめたものです。改めまして、このような貴重な研究の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

研究室一同、研究目的達成のために全力を尽くして参りました。本研究が、豊田市のスポーツツーリズム発展の一助となれば幸いです。

研究協力

本研究の実施に当たり、株式会社豊田スタジアム様ならびに阿部翔平様に多大なるご協力を賜りました。なお、阿部翔平様には、レジェンドツアーの「レジェンド」としてご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

目次

1.	研究の概要	2
2.	調査の概要	3
3.	調査結果と考察	4
4.	まとめ	19

1. 研究の概要

研究背景

1. 豊田市スポーツツーリスト減少の懸念



2026年のアジア競技大会開催を機に改修されたパロマ瑞穂陸上競技場の開場に伴い、豊田スタジアムで開催されるJ1リーグの試合数は減少することが見込まれている。つまり、**豊田スタジアムに来場するスポーツツーリストの減少**が懸念されており、豊田スタジアムにおける**試合開催日以外**のスポーツツーリストの誘客が求められる。

2. 豊田スタジアムツアーの可能性



試合開催日以外にスポーツツーリスト誘客に向けた施策として、本研究では**豊田スタジアムツアー**に着目する。スタジアムツアーはヘリテージスポーツツーリズムの一種であり、ツアー参加者はスタジアムの**歴史・文化**や、そのスタジアムを使用するスポーツチームとの歴史的繋がりを学ぶことができるため、多くのスポーツツーリストを呼び込む**観光コンテンツ**として国内で急成長している。

3. レジェンドツアー



海外では、スタジアムと深い関わりを持つレジェンドがガイドとしてツアーを実施する「**レジェンドツアー**」が人気を博している。レジェンドとスタジアムを巡ることができるため、通常のスタジアムツアーよりも高額で販売されることが多く、**高付加価値を生み出すサービス**として捉えられている。一方、国内でレジェンドツアーを取り入れているスタジアムは限られており、レジェンドがツアー参加者にもたらす効果も検証されていない。

研究アプローチ

豊田スタジアムツアーにおいて、以下2つの視点から研究を実施した。

日本人対象

ガイド (レジェンド有無)



ガイドツアーとレジェンドツアーを実施し、ツアー参加者の心理的経験や再参加意図などを比較検討する。

外国人対象

東アジア人・欧米人



中国語と英語による外国人向けレジェンドツアーを実施し、心理的経験や再参加意図などを検討する。

2. 調査の概要

- 調査日時 : 2026年1月21日 (水) 13時~17時
- 調査場所 : 豊田スタジアム
- 調査対象 : 中京大学日本人学生42名、外国人留学生12名
- 実施ツアー : 以下の3種類のツアーを実施した。
 - ① 日本人学生対象 レジェンドツアー (21名)
 - ② 日本人学生対象 ガイドツアー (21名)
 - ③ 外国人留学生対象 レジェンドツアー (中国語8名、英語4名)
- 所要時間 : ①③70分、②60分
- ルート : 以下のA~Hの順でツアー参加者を案内した。



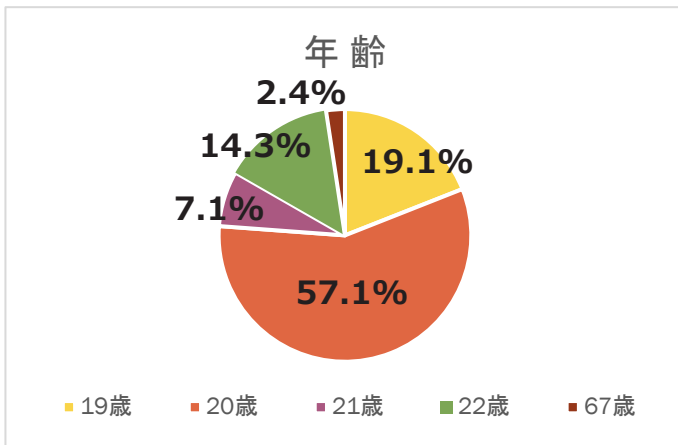
- 調査方法 : 事前オンライン調査、ツアー中の質問紙調査 (A~G)、ツアー終了後の質問紙調査 (H)
- ガイド : 伊藤央二 (スタジアムツアー参加経験有/現職ボランティアガイドからのレクチャーを受講)
- レジェンド : 阿部翔平 氏 (元名古屋グランパス選手、現リーグ気候変動アクションアンバサダー)
- 通訳者 : 伊藤研究室に所属する中国出身の大学院生および米国帰国子女の学部生
- 質問項目 : 個人属性 (年齢、性別など) / 感嘆性質[※] / 感嘆経験[※] / 真正性[※] / ツアー満足度[※] / ツアー再参加意図[※] / スタジアム再訪問意図[※] / グランパス観戦意図[※]
- 分析方法 :
 - ▶ ①②の感嘆性質を比較するための独立したt検定
 - ▶ ①②の測定場所およびレジェンド有無による感嘆経験を比較するための二元配置混合分散分析および反復測定分散分析
 - ▶ ①②の真正性、満足度、再参加意図、口コミ意図、スタジアム再訪問意図、グランパス観戦意図、グランパス以外観戦意図を比較するための独立したt検定
 - ▶ ③で収集した全データの記述統計

※いずれも7段階リッカート尺度 (全くそう思わない~非常にそう思う) を使用

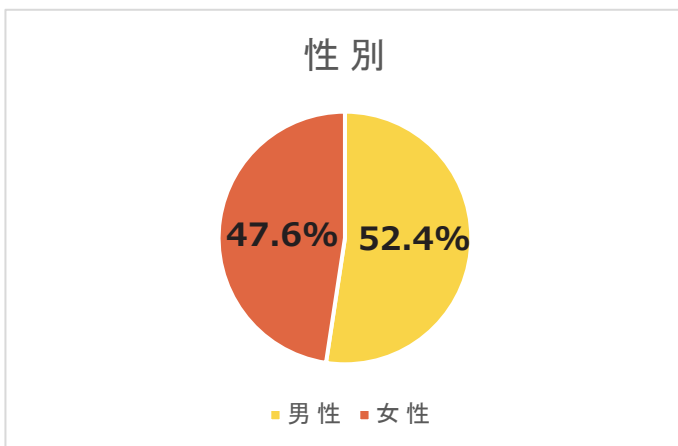
3. 調査結果と考察

日本人学生の結果

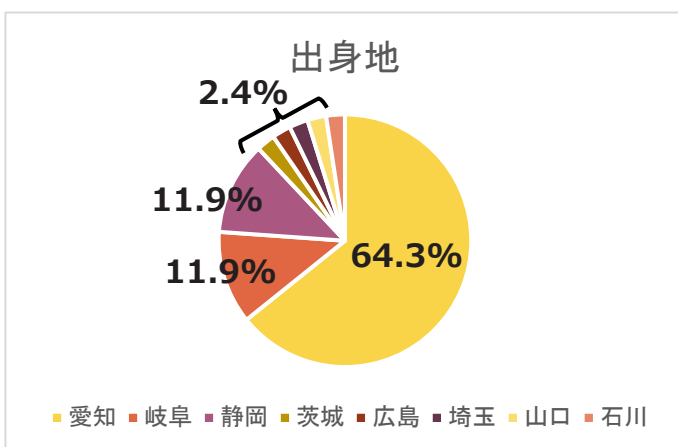
〈個人属性〉



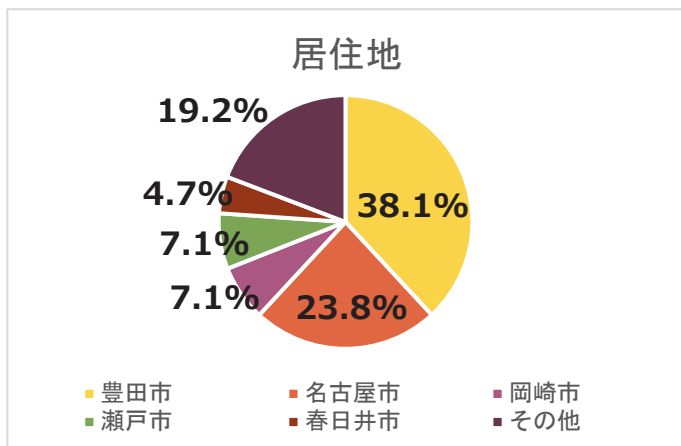
- 年齢は、20歳が57.1%と最も多く、次いで19歳が19.1%、22歳が14.3%と続いた



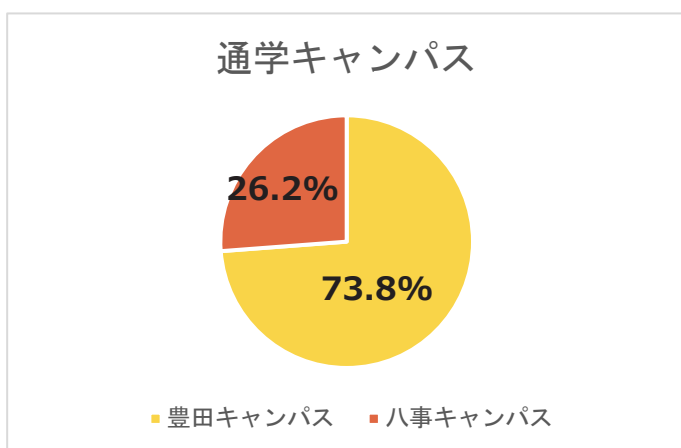
- 性別は、男性が52.4%、女性が47.6%であった
- 参加者の性別に大きな差はないことがうかがえる



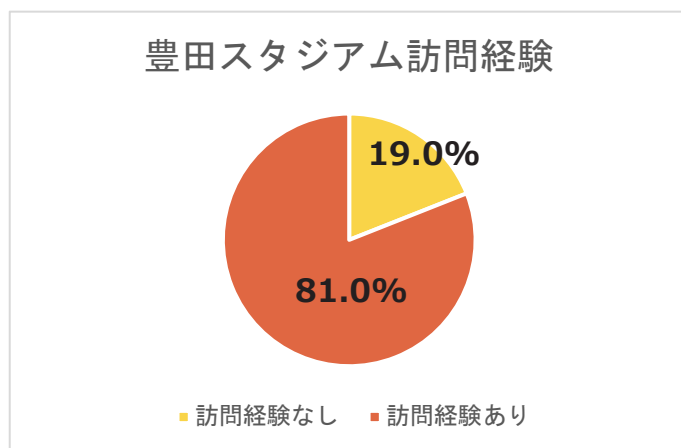
- 出身地は、愛知県が64.3%と最も多く、次いで岐阜県と静岡県が11.9%、茨城県・広島県・埼玉県・山口県・石川県が各2.4%であった
- 中京大学在学学生を対象としたため、豊田スタジアムが所在する**愛知県の出身者**が圧倒的に多く、次いで**東海圏**の出身者も多いことが確認された



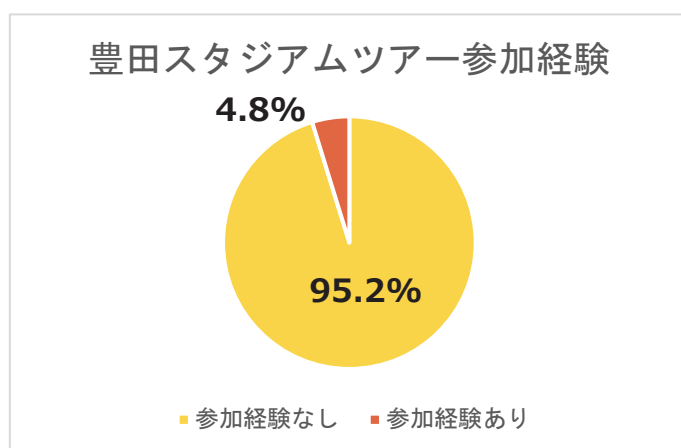
- 居住地は、**豊田市が38.1%と最も多く**、次いで名古屋市が23.8%、岡崎市と瀬戸市が各7.1%と続いた
- その他の内訳としては、安城市、豊川市、みよし市、稲沢市、常滑市、一宮市、豊橋市といった愛知県内の市町村や、中津川市（岐阜県）も確認された



- 参加者が通学する中京大学のキャンパスとしては、**豊田キャンパスが73.8%**、八事キャンパスが26.2%であった
- **7割以上**の参加者は、豊田スタジアムからの距離が近い豊田キャンパスに通学していることがうかがえる

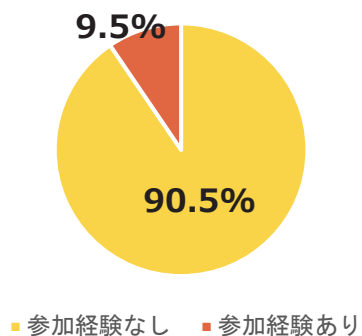


- 過去の豊田スタジアムへの訪問経験としては、訪問経験がない参加者が19.0%であったのに対し、**訪問経験がある参加者が81.0%を占めた**
- 8割以上は豊田スタジアムへの訪問経験を有するが、**約2割の初来場者**の存在も確認された



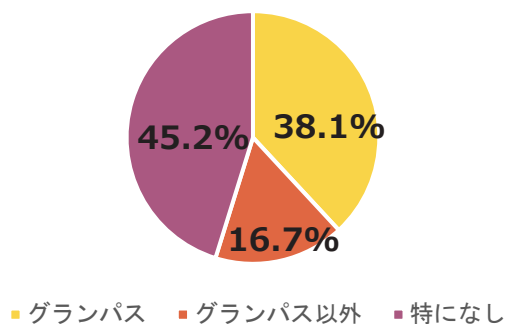
- 過去の豊田スタジアムツアーの参加経験は、**過去の参加経験がない参加者が95.2%**であったのに対し、参加経験がある参加者が4.8%（2名）であった
- ほとんどの参加者は、はじめての豊田スタジアムツアーへの参加であったことが確認された

他のスタジアムツアー参加経験



- 豊田スタジアム以外でのスタジアムツアーの参加経験としては、**参加経験がない参加者が90.5%**であったのに対し、9.5%（4名）は他のスタジアムのスタジアムツアーに参加した経験を有していた
- 約1割の参加者は他のスタジアムツアー参加経験を有しており、スタジアムツアーへの興味関心が高い可能性がうかがえる

好きなJリーグクラブ



- 好きなJリーグクラブは、名古屋グランパスが38.1%、名古屋グランパス以外が16.7%、特になしが45.2%であった
- 名古屋グランパス以外を応援する参加者や好きなJリーグクラブが特にない参加者が6割以上を占めており、**グランパスファンではない参加者の方が多かった**ことがうかがえる

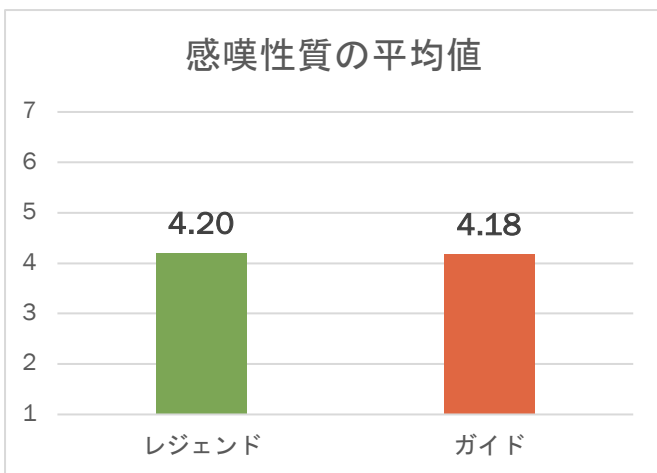
〈感嘆性質〉

個人がどれほど感嘆を感じる性質を有するかを評価する指標。事前オンライン調査で回答を受け付けた。日本人学生を対象としたレジンドツアーとガイドツアーの感嘆経験の比較検証を実施するにあたり、まずは群間で感嘆性質に差異がないことを確認する必要がある。

感嘆性質 質問項目一覧

項 目
1. 自然の美しさを目にする機会がたくさんある
2. 自分の世界に対する理解を超えるような経験を追求する
3. よく自分の周りにある物の中に模様を探す
4. しばしば、感嘆の念を抱く
5. 私の周りは、美しいものに溢れている
6. ほぼ毎日、不思議な感動を経験する

※尺度の信頼性を検証するためにクロンバックの α 係数を算出した結果、3番目と4番目の項目を削除して感嘆性質を算出することとなった。したがって、以下の結果は項目1、2、5、6によって算出されたものである。



独立したt検定の結果

	平均値	標準偏差	t	p
レジェンド	4.20	1.00	.04	.97
ガイド	4.18	0.85		

- 日本人レジンドツアー参加者の感嘆性質の平均値は4.20、ガイドツアーの参加者の感嘆性質の平均値は4.18であった
- 独立したt検定の結果、両者の間に**有意差は認められなかった**
- つまり、感嘆性質に群間差は見られないため、**感嘆経験における比較検証の妥当性が確認された**

〈ツアー中の感嘆経験〉

ツアー中の感嘆経験は、A) スタート（スタジアム外観）、B) 1階座席、C)スタジアムギャラリー、D) 貴賓室・特別観覧席、E) ロッカールーム、F) ピッチ、G) 4階座席、H) ゴール（1階コンコース）において、ガイドおよびレジェンド（レジェンドツアーのみ）の説明が終了した後に質問紙調査によって回答を受け付けた。

感嘆性質 質問項目一覧

項 目
1. 豊田スタジアムの_____（A~Gの場所の名前）は私に感嘆の念を抱かせる
2. 豊田スタジアムの_____（A~Gの場所の名前）は感嘆を呼び起こすものである
3. 豊田スタジアムの_____（A~Gの場所の名前）は驚くほど素晴らしい

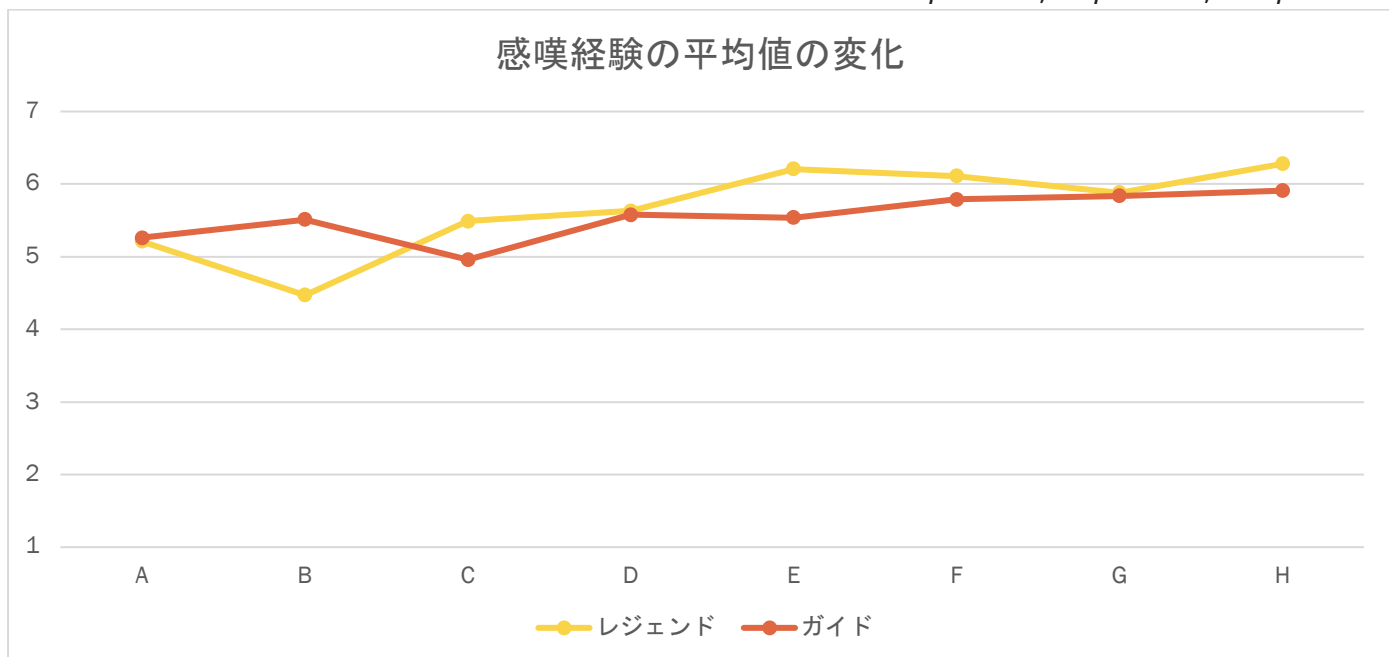
感嘆性質（ゴールのみ） 質問項目一覧

項 目
1. 豊田スタジアムでの経験は私に感嘆の念を抱かせる
2. 豊田スタジアムでの経験は感嘆を呼び起こすものである
3. 豊田スタジアムでの経験は驚くほど素晴らしい

反復測定分散分析の結果

ツアー種別	A	B	C	D	E	F	G	H	F
	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	
レジェンド	5.21 (0.97)	4.47 (0.90)	5.49 (0.96)	5.63 (1.15)	6.21** (0.96)	6.11* (0.81)	5.88 (1.00)	6.28*** (0.92)	7.02***
ガイド	5.26 (0.77)	5.51 (1.16)	4.96 (1.50)	5.58 (1.02)	5.54 (1.30)	5.79 (1.00)	5.84 (0.76)	5.91 (0.79)	2.90

* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$



- 二元配置混合分散分析の結果、測定場所が感嘆経験に与える効果は確認されたが、**レジェンドの存在が感嘆経験に与える追加の効果は確認されなかった**
- したがって、反復測定分散分析を実施し、各群で基準値のスタート地点（A）と各測定場所の間で感嘆経験がどのように変化したのかを明らかにした
- その結果、**レジェンドツアーの参加者のみ、E（ロッカールーム）、F（ピッチ）、H（ゴール）の3地点においてA（スタート）からの有意な上昇が確認された**
- 一方、ガイドツアーの参加者においては、いずれの場所でもA（スタート）からの有意差が確認されなかった

ポイント



レジェンドが実際に使用した場所で感嘆が高まる



▶ロッカールーム



▶ピッチ

レジェンドツアーにおけるロッカールームおよびピッチでは、**阿部翔平さんが現役時代に実際にそこで経験した出来事**を共有した。このような、**レジェンドによる実際の経験談**が、参加者の感嘆経験を高めた可能性がうかがえる。



レジェンドの存在は全体的な感嘆も高める



▶スタート



▶4階座席

レジェンドツアーの参加者は、ゴール地点での感嘆経験が、スタート地点の感嘆経験から有意に上昇したことが確認された。一方、ガイドツアーではいずれの場所においてもスタート地点からの有意差は確認されなかった。つまり、**豊田スタジアムツアー全体を通して、レジェンドの存在は豊田スタジアムに対する総合的な感嘆経験を高めることが示唆される。**

〈豊田スタジアムの真正性〉

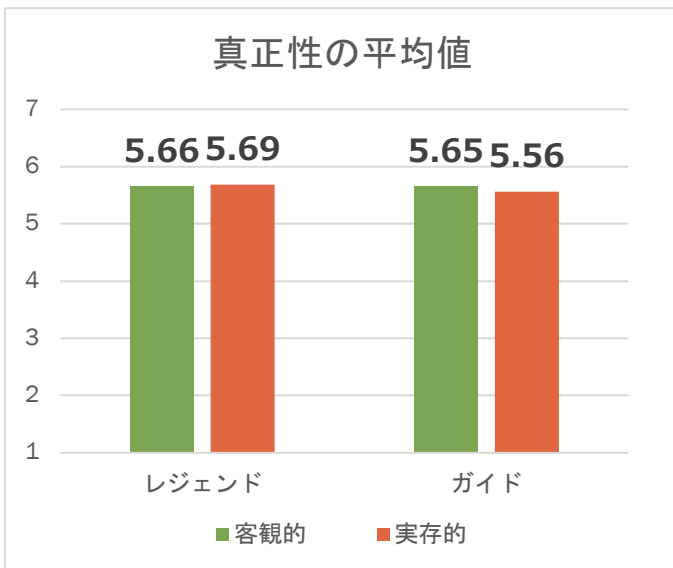
真正性：観光対象物が「本物」であり、観光目的地での体験が「本物の体験」であること。豊田スタジアムの文脈では、ツアー経験を通して豊田スタジアムという遺産価値にどれだけ「本物さ」を感じ、豊田スタジアムツアーの参加によって神秘的な雰囲気やグランパスにまつわる文化遺産などの「本物さ」をどれだけ経験しているかを評価する。

真正性 質問項目一覧

因子	項目
客観的真正性※1	1. 豊スタのデザインや設備の独特さが好きだ 2. 豊スタの全体的な設計と建物の印象に感銘を受けた 3. 豊スタにまつわる展示物が興味深くて好きだ 4. 豊スタが魅力的な景観、歴史、豊田市に溶け込んでいることが好きだ
実存的真正性※2	1. スタジアムツアーは豊スタにまつわる歴史背景の深い理解をもたらす 2. スタジアムツアーでは豊スタの歴史や文化との繋がりを感じた 3. 豊スタでの独特で神秘的な体験が好きだ 4. 豊スタの穏やかで平穏な雰囲気が好きだ 5. スタジアムツアーでは豊スタにまつわる歴史的な出来事や雰囲気を感じた 6. 豊スタの文化遺産に関連するスタジアムツアーが好きだ

※1 スタジアムの固有の属性やスタジアムそのものの特性から得られる物的ベースの真正性

※2 スタジアムの歴史・文化に対する観戦者自身の感情や、その感情に基づく真正な経験から得られる活動ベースの真正性



- レジェンドツアーにおける客観的真正性の平均値は5.66であり、実存的真正性は5.69であった
- ガイドツアーにおける客観的真正性の平均値は5.65であり、実存的真正性は5.56であった
- 独立したt検定の結果、**客観的真正性 ($t = .43, p = .97$) と実存的真正性 ($t = .45, p = .67$)**はとも群間における有意差は確認されなかった

ポイント



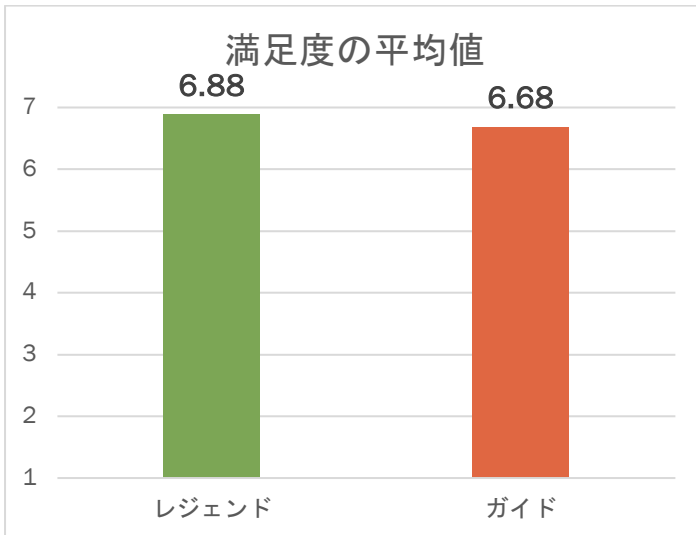
レジェンド有無によるスタジアムの真正性の評価に差はない

スタジアムに対する真正性は、レジェンドの有無にかかわらず、参加者は高く評価することがうかがえる。つまり、豊田スタジアムそのものが高い真正性の価値を有するスタジアムであることが示唆される。

〈満足度〉

満足度 質問項目一覧

項目
1. 豊スタツアーに参加して良かった
2. 豊スタツアーを友人に勧めたい
3. 豊スタツアーでの経験は満足だった



- レジェンドツアーにおける満足度の平均値は6.88であったのに対し、ガイドツアーの満足度の平均値は6.68であった
- 独立した t 検定の結果、群間における満足度に有意差は確認されなかった ($t = 1.28, p = .21$)
- レジェンドの有無によって、豊田スタジアムツアーに対する満足度は変わらないことがうかがえる

ポイント



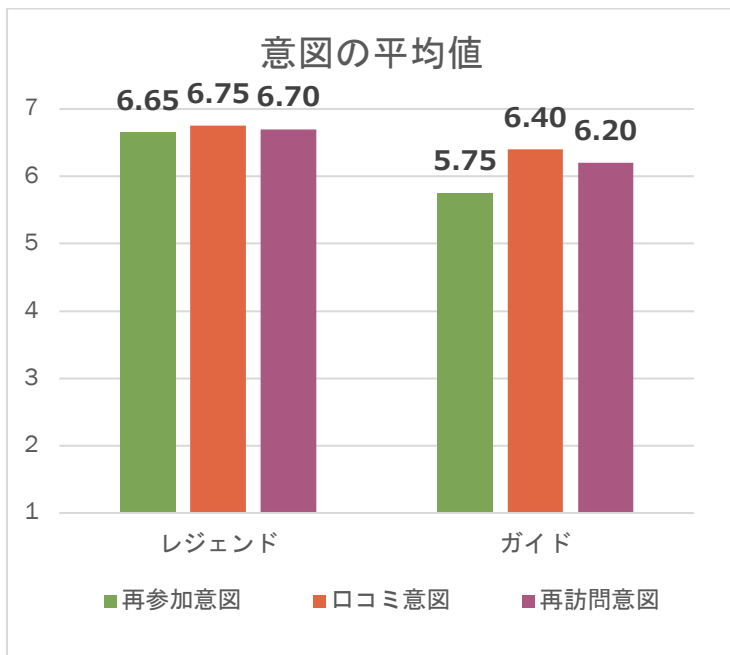
レジェンド有無によるツアー満足度の評価に差はない

スタジアムツアーに対する満足度は、レジェンドの有無にかかわらず、参加者は高く評価することがうかがえる。つまり、豊田スタジアムツアーは参加者に十分な満足度を与えるコンテンツであることが示唆される。

〈再参加・口コミ・再訪問意図〉

再参加・口コミ・再訪問意図 質問項目一覧

因子	項目
再参加意図	また豊スタツアーに参加したい
口コミ意図	豊スタツアーを友人に勧めたい
再訪問意図	スタジアムツアーに関わらず、また豊スタを訪れたい



- レジェンドツアーにおける再参加意図の平均値は6.65、口コミ意図は6.75、再訪問意図は6.70であった
- ガイドツアーにおける再参加意図の平均値は5.75、口コミ意図は6.40、再訪問意図は6.20であった
- 独立した t 検定の結果、再参加意図 ($t = .01, p = .02$) においてはレジェンドツアーの方がガイドツアーよりも有意に高いことが明らかとなった
- 口コミ意図 ($t = .11, p = .18$) と再訪問意図 ($t = .10, p = .08$) においては有意差が確認されなかった

ポイント



レジェンドの存在はツアーの再参加意図を高める

レジェンドの存在は「スタジアムツアーにまた参加したい！」という気持ちを駆り立てる原動力となることがうかがえる。したがって、**リピーターの確保**に効果的である可能性が示唆される。



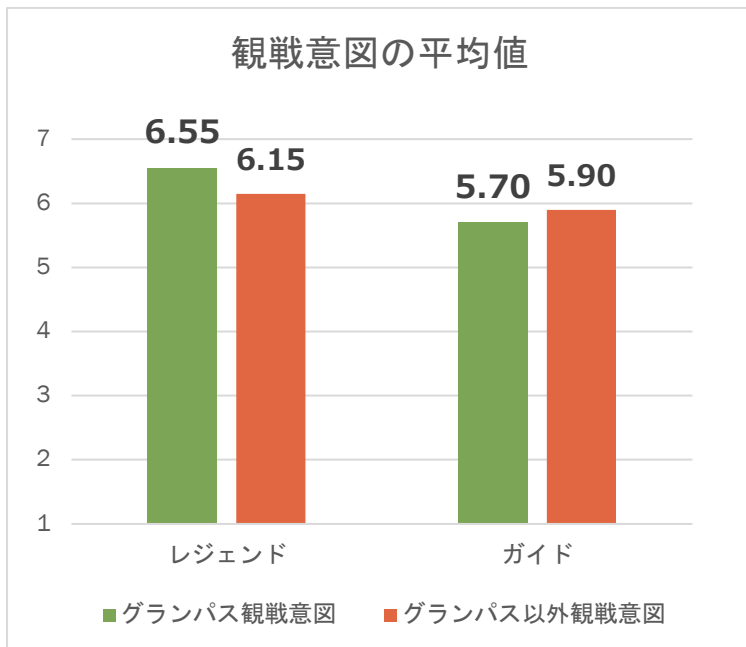
レジェンド有無による口コミ意図、再訪問意図に差はない

レジェンドの存在は再参加意図を駆り立てるものの、**他者への口コミやツアー以外でのスタジアム訪問意欲を駆り立てるわけではない**。つまり、口コミ行動やツアー以外での再訪問行動を促進するためには、他の戦略が求められる。

〈今後の豊田スタジアムでの観戦意図〉

今後の豊スタでのスポーツ観戦 質問項目一覧

因子	項目
グランパス観戦意図	今後、豊スタで名古屋グランパスの試合を観戦したい
グランパス以外観戦意図	今後、豊スタで名古屋グランパスの試合以外のスポーツを観戦したい



- レジェンドツアーにおけるグランパス観戦意図の平均値は6.55、グランパス以外の観戦意図は6.15であった
- ガイドツアーにおけるグランパス観戦意図は5.70、グランパス以外の観戦意図は5.90であった
- 独立したt検定の結果、**グランパス観戦意図 ($t = .00, p = .047$)** においてはレジェンドツアーの方がガイドツアーよりも有意に高いことが明らかとなった
- グランパス以外の観戦意図 ($t = .99, p = .55$) においては、有意差が確認されなかった

ポイント



レジェンドの存在はグランパスの観戦意図を高める

レジェンド（元グランパス選手）の存在は、現在のグランパスに対する観戦意図を高めることがうかがえる。つまり、**レジェンドはツアー参加者のグランパスに対する興味関心を広げ、観戦行動を促進する効果がある**と示唆される。

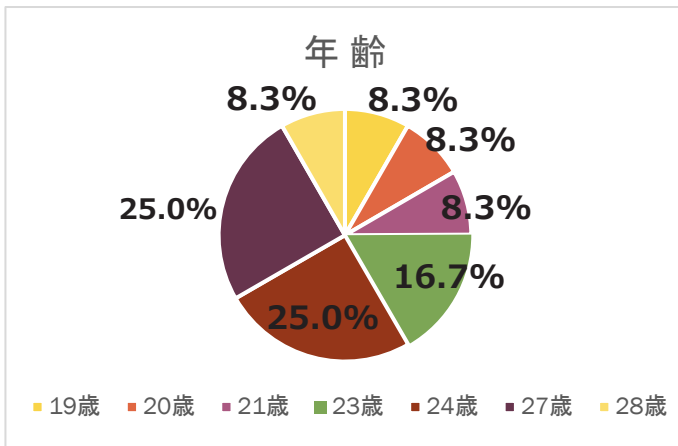


レジェンド有無によるグランパス以外の観戦意図に差はない

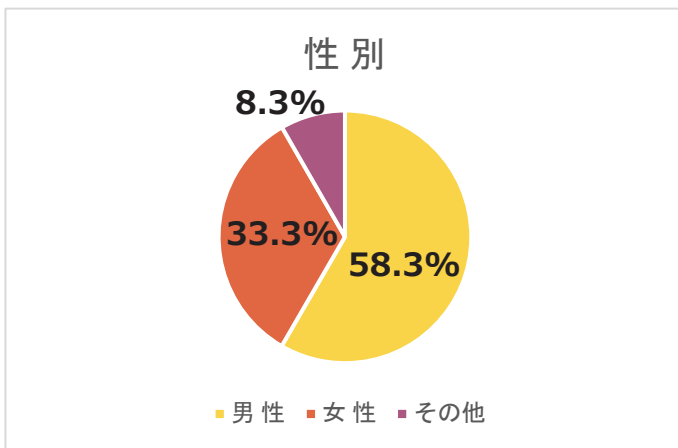
レジェンド（元グランパス選手）の存在は、グランパス以外の豊田スタジアムでの試合観戦意図を高めるわけではないことがうかがえる。つまり、**レジェンドは豊田スタジアムにおけるグランパス以外の試合観戦意図には影響を与えない**ことが示唆される。

外国人留学生の結果

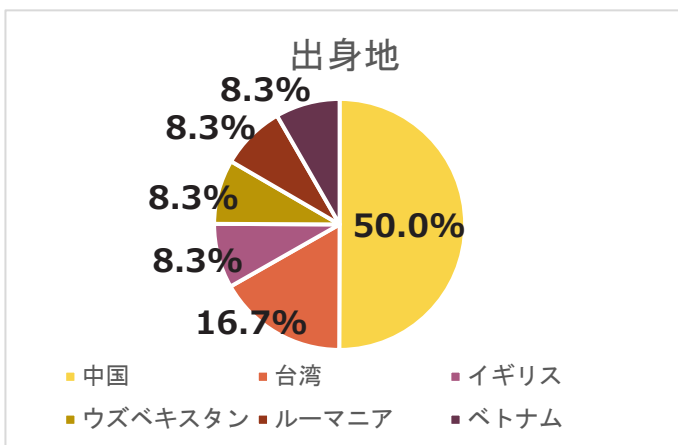
〈個人属性〉



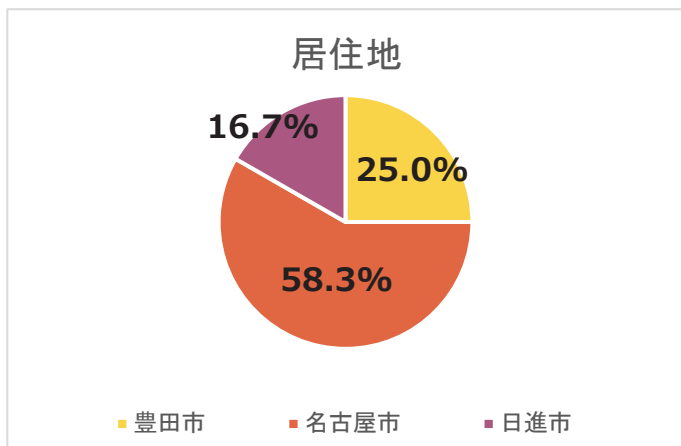
- 年齢は、24歳と27歳が各25.0%と最も多く、次いで23歳が16.7%、19～21歳と28歳が各8.3%と続いた
- 日本人学生には確認されなかった20代後半の参加者の存在が明らかとなった



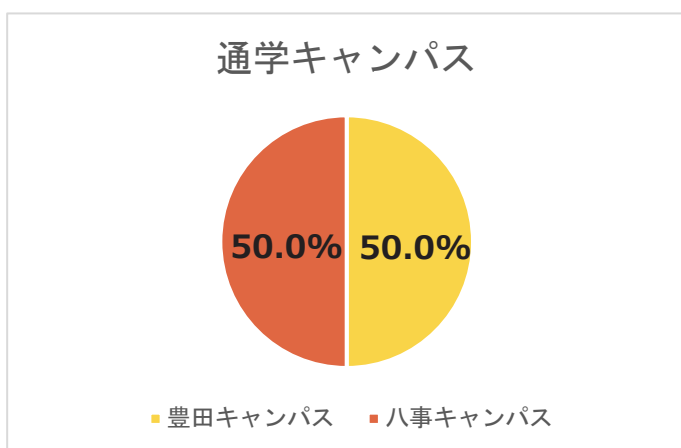
- 性別は、男性が58.3%、女性が33.3%、その他が8.3%であった
- **男性**の方が女性に比べて多いことがうかがえる



- 出身地は、**中国が50.0%と最も多く**、次いで台湾が16.7%と続いた
- 英語の同時通訳を利用した参加者の出身地は、イギリス、ウズベキスタン、ルーマニア、ベトナムであった



- 居住地は、**名古屋市が58.3%と最も多く**、次いで豊田市が25.0%、日進市が16.7%と続いた
- 名古屋市に居住する外国人留学生在が半数以上を占めた



- 参加者が通学する中京大学のキャンパスとしては、豊田キャンパスが50.0%、八事キャンパスが50.0%であった



- 過去の豊田スタジアムへの訪問経験については、**過去の訪問経験がない参加者が100.0%**であった
- 外国人留学生全員（12名）が豊田スタジアムに初めて来場したことが明らかとなった



- 過去の豊田スタジアムツアーの参加経験については、**過去の参加経験がない参加者が100.0%**であった

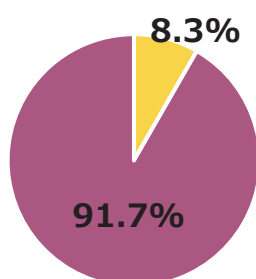
他のスタジアムツアー参加経験



■ 参加経験なし ■ 参加経験あり

- 豊田スタジアム以外でのスタジアムツアーの参加経験については、**参加経験がない参加者が100.0%**であった

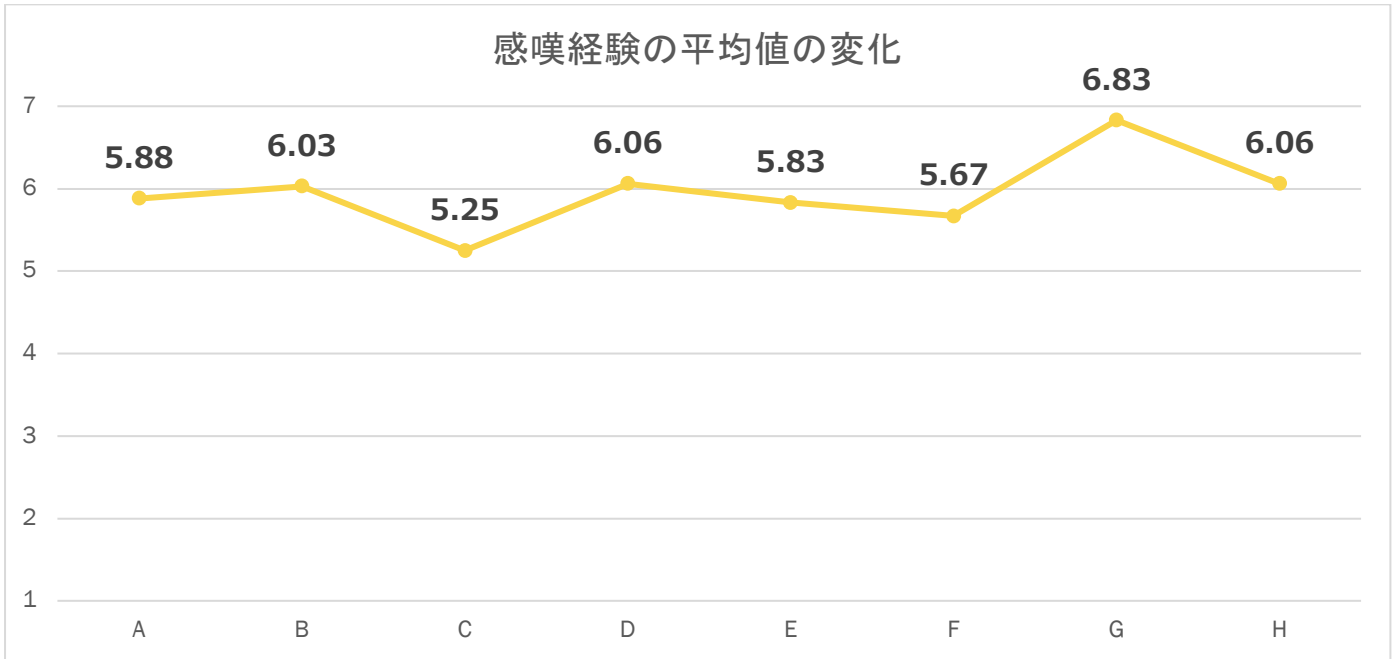
好きなJリーグクラブ



■ グランパス ■ グランパス以外 ■ 特になし

- 好きなJリーグクラブは、名古屋グランパスが8.3%、特になしが91.7%であった
- 名古屋グランパスを応援する参加者が1名（8.3%）いたのに対し、**9割以上の参加者は好きなJリーグクラブを有しておらず**、Jリーグへの関心が低い外国人参加者が多かったことがうかがえる

〈感嘆経験〉



※ A) スタート (スタジアム外観)、B) 1階座席、C)スタジアムギャラリー、D) 貴賓室・特別観覧席、E) ロッカールーム、F) ピッチ、G) 4階座席、H) ゴール (1階コンコース)

- 日本人学生対象のレジェンドツアーで有意な上昇が確認されたE) ロッカールームとF) ピッチでは、大きな上昇は見られなかった
- 一方、**G) 4階座席**については平均値が6.83と、他の測定場所に比べて著しく高い値が確認された
- ゴール地点で測定された豊田スタジアムに対する総合的な感嘆経験の評価 ($M = 6.06$) については、日本人学生対象のレジェンドツアー ($M = 6.28$) よりは落ち込むものの、**日本人学生対象のガイドツアー ($M = 5.91$)より高い値を示した**

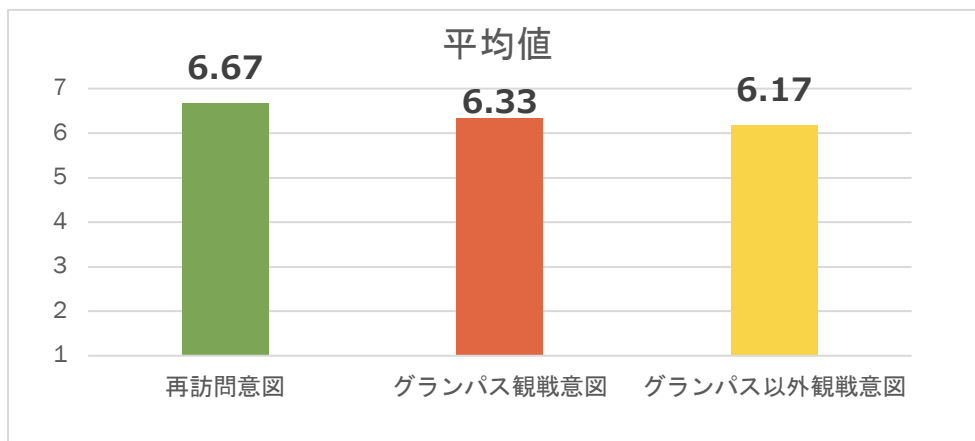
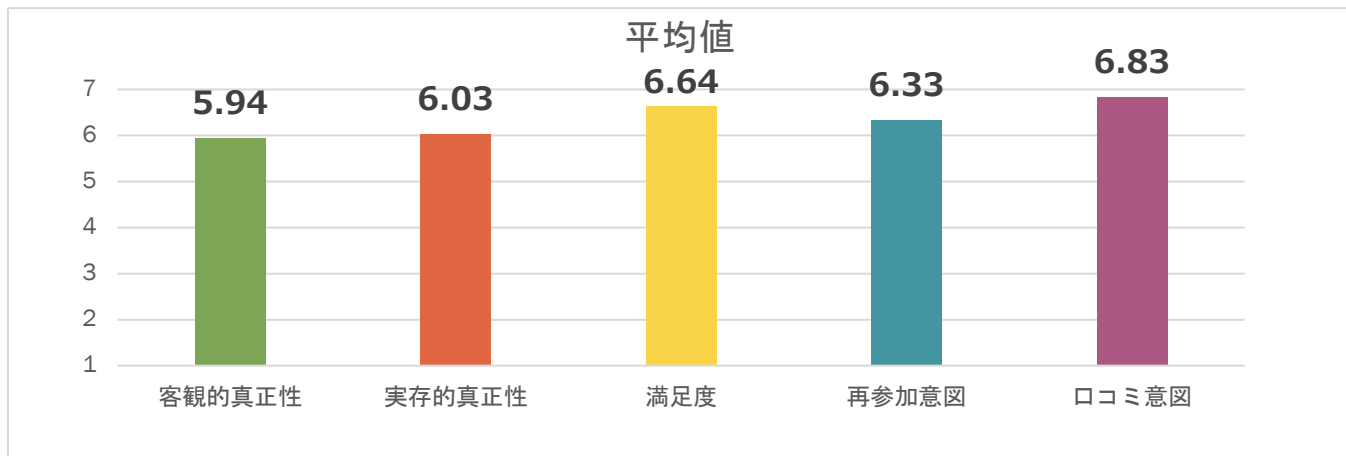
ポイント



外国人は4階座席からの景色に対して感嘆の念を抱きやすい

外国人留学生においては、レジェンドが実際に使用した場所 (例:ロッカールーム) よりも、豊田スタジアムの最大の特徴である**座席の急な傾斜が体験できる4階席で感嘆経験が高まる**ことがうかがえる。

〈豊田スタジアムの真正性・ツアー満足度・再参加/口コミ/再訪問意図・観戦意図〉



- 客観的真正性の平均値は5.94、実存的真正性は6.03であり、**日本人学生よりも真正性をやや高く評価したことがうかがえる**
- 満足度の平均値は6.64であり、**日本人学生の両群（レジェンド： $M = 6.88$ 、ガイド： $M = 6.68$ ）と同程度の満足を得ていたことがうかがえる**
- 再参加意図の平均値は6.33であり、日本人学生対象のレジェンドツアー（ $M = 6.65$ ）よりは落ち込むものの、**日本人学生対象のガイドツアー（ $M = 5.75$ ）よりは高い値を示した**
- 口コミ意図の平均値は6.83であり、**日本人学生の両群（レジェンド： $M = 6.75$ 、ガイド： $M = 6.40$ ）よりもやや高い値を示した**
- 再訪問意図の平均値は6.67であり、**日本人学生対象のレジェンドツアー（ $M = 6.70$ ）と同程度の値を示した**
- グランパス観戦意図の平均値は6.33であり、日本人学生対象のレジェンドツアー（ $M = 6.55$ ）ほど高くはないが、**日本人学生対象のガイドツアー（ $M = 5.70$ ）よりは高い値を示した**
- グランパス以外の観戦意図の平均値は6.17であり、**日本人学生の両群（レジェンド： $M = 6.15$ 、ガイド： $M = 5.90$ ）と同程度の値を示した**

ポイント



豊田スタジアムツアーは外国人にとっても楽しめるコンテンツである

全ての項目において日本人学生と同等の評価が得られたことから、**同時通訳による外国人向けスタジアムツアー**は外国人観光客を惹きつけることができるかもしれない。

4. まとめ

レジェンドの存在



ツアー中の感嘆経験を高める

日本人学生を対象とした比較検証から、レジェンドが現役時代に実際に使用したロッカールームやピッチにおいてツアー参加者の感嘆経験が高まることが明らかになった。つまり、**レジェンド自身の経験をツアー参加者に共有することで、彼らの感嘆を高めることができるのでは？**



ツアー終了後の総合的な感嘆経験を高める

日本人学生を対象とした比較検証から、ツアー全体を通してレジェンドが同行することで、豊田スタジアムツアーに対する総合的な感嘆経験の評価が高まることが明らかとなった。つまり、**レジェンドの存在は総合的な感嘆経験の向上につながり、彼らの再参加を促すかも？**



再参加意図とグランパス観戦意図を高める

日本人学生を対象とした比較検証から、ツアー全体を通してレジェンドが同行することで、豊田スタジアムツアーに対する再参加意図と今後のグランパス観戦意図が高まることが明らかとなった。つまり、**レジェンドの存在はリピーター確保だけでなく、グランパス観戦行動を促進する力を持つかも？**

外国人対応



外国人もツアーを通して感嘆を経験する

外国人留学生を対象とした記述統計から、**外国人留学生も日本人学生と同様にツアーに対する感嘆を感じていた。**なかでも、4階座席からの傾斜角度の体験は、彼らの感嘆経験を駆り立てることが明らかとなった。



外国人にも魅力的なスタジアムツアー

外国人留学生を対象とした記述統計から、外国人留学生もツアーを通して豊田スタジアムに対する真正性を評価しており、満足度や将来の行動意図においても高い値が確認された。つまり、**豊田スタジアムツアーは外国人にとっても魅力的な観光コンテンツであることがうかがえる。**今後、同時通訳サービスの提供や海外からの応募が可能なアクセス方法を整備することが求められる。

令和7年度 豊田市 大学・高専発 研究提案
「豊田スタジアムのスタジアムツアーを活用した
ヘリテージスポーツツーリズムの開発」

中京大学大学院スポーツ科学研究科 伊藤研究室
太田 明李 ・ 伊藤 央二



2026年3月

